

日頃より当協議会の活動にご理解、ご協力をいただいておりますことを感謝申し上げます。  
今年度より年1回のアニュアルレポートを発行してまいりますのでよろしくお願いいたします。

## 中期計画キャッチフレーズ『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

2023~2025年度の中期計画の3年目は、SNSやHPでの発信の充実につとめるとともに、地域子育て支援拠点の価値を明らかにする調査研究を実施しました。報告書とパンフレットを作成し、フォーラムでは10年後を見据えた拠点の価値を共有できました。また、オンラインひろば見学会やブロック別交流会により会員の方々とオンラインではありますが、交流の機会も創出できました。

### 重点テーマ1 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

- (1) 妊娠したら、育休取ったら、拠点へGO!キャンペーンの実施
- (2) 拠点で取り組む最新情報の発信(調査研究実施・リーフレット作成・フォーラム開催)

### 重点テーマ2 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

- (1) 会員間のコミュニティづくり
  - ・ランチ交流会(セミナーのランチタイムを活用)
  - ・オンライン交流会&ひろば見学会の実施
- (2) ひろば全協へ意見を収集しニーズに沿った事業を実施
  - ・テーマ別交流会(拠点ならではの「一時預かり」について語ろう・拠点の防災について語ろう)
  - ・利用者支援専門員(基本型)のひろば(年6回のメルマガ配信・専用講座2回とオンライン交流会)
  - ・会員向けオンライン相談会
  - ・ブロック別意見交換会(次年度予算に向けた意見書に反映)



### 重点テーマ3 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

- (1) 企業との連携(住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」・熊谷組「スマイルプロジェクト」)
- (2) SNSの整備(2025年度末Instagramフォロワー数1613・こどもまんなかアクションの投稿等)
- (3) 行政との連携(都道府県別の地域子育て支援拠点一覧を掲載)

ブロック別意見交換会	日程	人数
北海道・東北	2/27(金)	12
関東	2/18(水)	3
東海・甲信越・北陸	2/5(木)	12
近畿	2/16(月)	8
中国・四国	2/9(月)	13
九州・沖縄	2/24(火)	9

## 「住友生命~未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業

あなたの未来を強くする



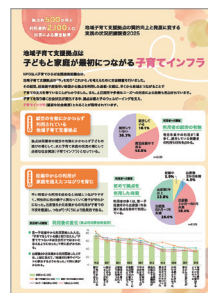
2007年度から住友生命保険相互会社様の創業100周年記念事業「未来を築く子育てプロジェクト(現「未来を強くする子育てプロジェクト」)として多大なるご助成をいただき、会員支援としてのひろばコンサルテーションやブロック別交流会、「育ちの詩」などの冊子発行、基礎・応用研修、地域子育て支援士、グループワーク活用講座などの開発をまいりました。2025年度は調査研究や研修プログラム開発とともに、中期計画の『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』というキャッチフレーズのもと、子どもの育ちと子育て家庭のウェルビーイングのために大切に活用させていただきましたことを感謝とともにご報告申し上げます。

### 「地域子育て支援拠点の質的向上と発展に資する実践の状況把握調査」

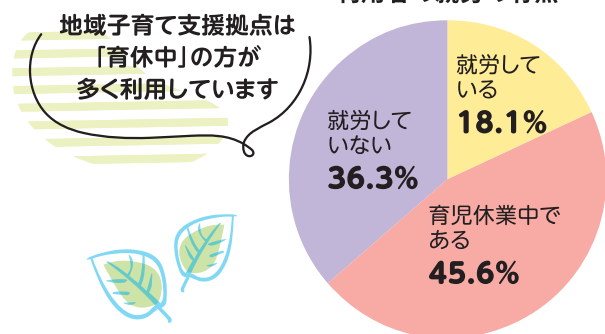
拠点の「今」を知り「これから」を考える調査として、全国の拠点1,317か所を対象に、職員495名利用者2,125名の貴重な声が寄せられました。

- ・就労の有無にかかわらず拠点が利用されている
- ・妊娠期からの利用がつながりづくりに効果的である
- ・3歳以上の子どもの遊び場、土日の開所が期待されている

などから、拠点は子育て家庭に必要な「子育てインフラ」としての社会資源であることが明らかになりました。調査結果を踏まえ、2026年2月10日に開催したフォーラムでは、460名の方に参加いただきました。



利用者の就労の有無



### 研修・フォーラムの開催

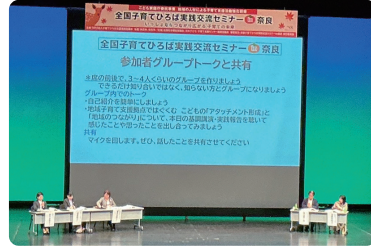
気になるテーマについて情報交換する「テーマ別交流会」、組織運営の悩みについて気軽に話せる「オンライン相談」を実施。また利用者支援専門員(基本型)向けの講座・交流会も開催しました。

事業名	のべ参加数
オンラインフォーラム	460名
テーマ別交流会(会員向け)	81名
オンライン相談(会員向け)	6団体
プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ	93名
利用者支援専門員((基本型)のひろば)	116名

## こども家庭庁委託事業 地域の人材による子育て支援活動強化研修

こども家庭庁委託事業として全国5カ所で開催。行政説明、有識者の基調講演、パネルディスカッションは事例を含めた実践発表がありました。全国セミナーは2日間でのべ約1000名参加。1日目は、県、市からご来賓挨拶いただき、基調講演は東京大学大学院教授の遠藤先生にご登壇いただきました。1日目のパネルディスカッション、分科会では、有識者の先生の講義とともに、全国の先駆的な事例を共有し、全国の実践者とも交流する貴重な機会となりました。

開催名	全国子育てひろば実践交流セミナー in 奈良	
日時	11/29(土) 13:00~17:30	11/30(日) 9:00~12:30
会場	なら100年会館 大ホール	奈良県コンベンションセンター
人数	489	433
協力	全国子育てひろば実践交流セミナー in 奈良実行委員会	
事務局	NPO法人Msなっと	



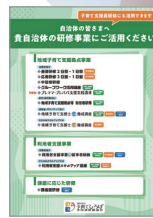
開催名	佐賀開催	茨城開催	青森開催	東京開催
日時	7/27(日) 10:00~16:00	9/7(日) 10:00~16:00	10/25(土) 10:00~16:00	2026/1/25(日) 10:00~16:00
会場	アバンセ ホール	水戸市民会館 大会議室	青森市男女共同参画プラザ カダールAV多機能ホール	東京ウィメンズプラザホール
人数	139	148	93	185
協力	NPO法人アンジュ・ママン	認定NPO法人 セカンドリーグ茨城	NPO法人子育て応援隊 ココネットあおもり	NPO法人せたがや子育てネット



## 自治体受託事業

- ・地域子育て支援拠点のガイドラインを基に作成したプログラムを活用して、拠点の基礎的知識や対人支援に必要な基本的スキルをお伝えする研修を実施しています。
- ・全国の自治体(都道府県市)に研修案内パンフレットを郵送し、スタッフ向けの研修をご案内しています。
- ・お問い合わせいただいた自治体には拠点の課題を伺い、ニーズに合わせた研修を予算に合わせてご提案します。
- ・子育て支援員研修を数十名で単独開催するだけでなく、若干名での開催をご希望の自治体にも、ひろば全協の自主事業の研修をご活用いただくなどの対応をしております。

自治体向け研修案内パンフ



救急救命講座



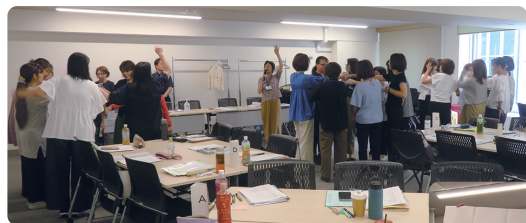
研修名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基礎研修	6	3	7
応用研修	4	3	4
中堅者研修	2	0	1
講義型研修	7	9	14
地域子育て支援士二種養成講座	0	0	1
子育て支援員研修(地域子育て支援拠点事業)	4	6	7
子育て支援員研修(利用者支援事業)	13	11	12
子育て支援員研修(フォローアップ研修)	0	1	3
合計	36	33	49

研修名	受講者(名)	主催自治体
◆基礎研修	3,268	山梨県・横浜市・茨木市・世田谷区・練馬区
◆応用研修	1,185	横浜市・奈良市・世田谷区・練馬区
◆中堅者研修	34	横浜市
◆地域子育て支援士二種養成講座	33	愛知文教女子短期大学
◆講義型研修	732	横浜市・飯田市・甲賀市・吹田市・浜松市・北九州市・松山市・世田谷区・大阪市東成区
子育て支援員研修		
◆地域子育て支援拠点事業	190	大分県・文京区・池田市・上野原市(一財)保健福祉振興財団(福島県・鳥取県・熊本県)
◆利用者支援事業	44	大分県・仙台市・中央市・葦崎市・高槻市・香南市・柏崎市・桑名市・宮城県亘理町(一財)保健福祉振興財団(福島県・鳥取県・熊本県)
◆フォローアップ研修(初任者研修・スキルアップ研修)	3	上野原市・青森市
合計	5,489	

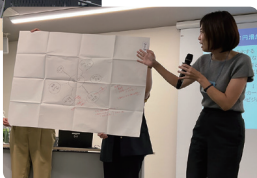
## 地域子育て支援士(一種)養成講座

●ひろば全協の全講座の中で最上位の認定資格講座

2025年8月23日(土)~25日(月)に、東京で3日間の対面研修を行いました。日本福祉大学教授の渡辺顕一郎先生と、理事の奥山千鶴子が講師を務め、グループワーク・講義を行い、「地域子育て支援拠点」等において活動する者の実践経験をふまえて理論的・体系的に視座を整理、獲得しました。



2025年度受講者数：24名  
認定証発行総数：206名



## 地域子育て支援拠点等 初任者研修

●新任研修にも活用できる要素を2時間に集約した研修

『地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」』を軸に、子育ての現状や行政制度、地域子育て支援拠点事業の意義や役割、基本的な支援のあり方、守秘義務などのポイントを初任者がオンラインで学べる研修です。



2025年度受講者数：328名  
のべ受講者数：1421名



## リーダーシップ研修

●年に1回のオリジナルプログラムをひろば全協全理事で企画

7月5日(土)、7月6日(日)の2日間にわたり横浜のみなとみらい地区で実施しました。今年のキーワードは「パラダイムシフト」。異なる価値観と出会った時の対応や、明日からのアクションにつながるヒントを、北は青森県から南は長崎県まで、全国から集まった会員団体のリーダー、次世代リーダーの皆さんと共有しました。受講者からは、「他の地域で頑張っている方と会えてよかった」「自分の固定概念や枠を知ることができてよかった」「自分のこと、組織のこの振り返りができてよい時間が過ごせた」との感想が寄せられました。



受講者数：38名



## 利用者支援事業等従事者研修

●利用者支援事業に必須な要素を事例のグループワークも交えて習得

地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、個別の家庭状況を踏まえた支援のコーディネートをする方を対象とする研修です。自治体の子育て支援員研修としてもご活用いただいています。



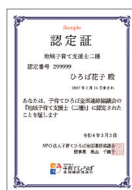
2025年度受講者数：92名  
修了証書発行総数：1,302名



## 地域子育て支援士(二種)養成講座

●拠点事業に関わる方にぜひ取得いただきたい認定資格講座

乳幼児とその保護者が集う「地域子育て支援拠点」等に関わる支援者やボランティアなどに求められる基礎的な知識・技術を習得したことをひろば全協が認定する資格です。地域子育て支援拠点に関わる初任者だけでなく、ボランティアなど地域の活動者に対する「入門編」として位置づけています。



2025年度受講者数：305名  
認定証発行総数：5,627名



## 地域子育て支援拠点等従事者のためのグループワーク活用講座

親の今を受け止め、ピアサポートが生まれるプログラム作り

2025年  
新規講座

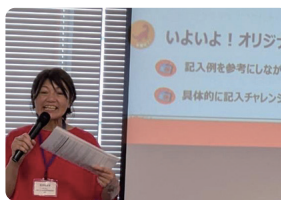
●予防型プログラムを習得する実践者向け講座

2024年度まで実施していた「予防型プログラム講座[初任者向け]・[経験者向け]」を統合し、新たな解説やワークを加えた講座を実施しました。

「グループワーク」とは参加者同士が子育ての関心や交流を通して共感することにより、主体的に学ぶプログラムです。2回の講座で、基本4事業を踏まえた利用者同士のピアサポートを生み出すための対応やファシリテーションを学びました。



2025年度受講者数：98名



## 利用者支援スキルアップ講座

●毎年異なるテーマで専門性の高い講義を提供

「利用者支援事業等従事者研修修了者」の皆さまへのフォローアップとしてご活用いただくとともに、利用者支援事業現任者やそれに準ずる方にもご参加いただける講座です。今年度は朝比奈ミカさんを講師に迎え、「利用者理解のための記録の取り方と活用」のテーマで、日頃の対応のなかでの聞き取りや観察のポイント、記録のコツやチームで取り組む際の視点や作法などを一緒に考えました。

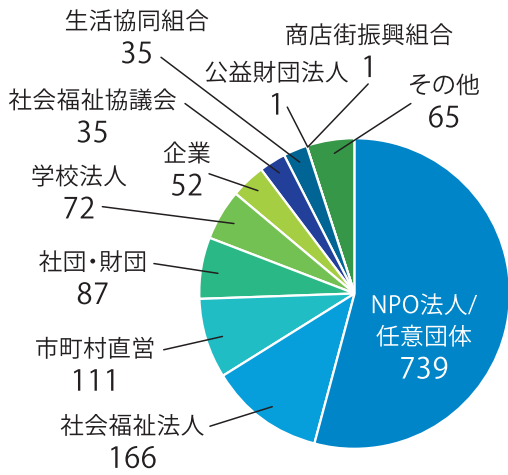
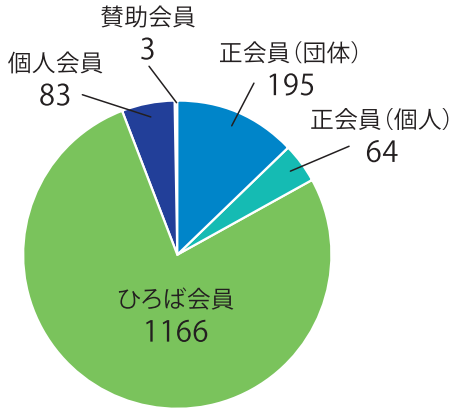


2025年度受講者数：61名



◆2025年度会員内訳

総数1,511 (団体)1,364・(個人)147  
 正会員(団体)195・正会員(個人)64  
 ひろば会員1,166・賛助会員3・個人会員83



◆会員マイページによる会員情報の登録

2026年度より会員継続手続き効率化のためにマイページを構築しました。また、会費納入にクレジット決済を導入して利便性を高めるなど、今後もDX化推進につとめます。また、WEBサイト「各地のひろば」には会員HPをリンクして実践交流やネットワーク形成に活用いただいています。



◆メールニュース配信

会員限定配信・研修の案内や国の制度などの最新情報を提供  
 Vol.217【2025年4月17日】～Vol.228【2026年3月16日】全12本

2025年度 会計報告(活動計算書)

	金額	小計・合計
<b>I 経常収益</b>		
1.受取会費		12,267,000
正会員(団体)受取会費	2,340,000	
正会員(個人)受取会費	320,000	
ひろば会員受取会費	9,328,000	
賛助会員受取会費	30,000	
個人会員受取会費	249,000	
2.受取寄付金		1,000,000
3.受取助成金等		7,000,000
4.事業収益		34,216,927
子ども家庭庁受託事業収益	11,448,532	
自治体等受託事業収益	12,844,791	
自主事業収益	8,515,900	
手数料収益	1,407,704	
3.その他収益		586,659
<b>経常収益計</b>		<b>55,070,586</b>

	金額	小計・合計
<b>II 経常費用</b>		
1.事業費		
(1)人件費	18,628,658	
(2)その他経費	21,632,769	
事業費計		40,261,427
2.管理費		
(1)人件費	9,672,284	
(2)その他経費	3,998,317	
管理費計		13,670,601
<b>経常費用計</b>		<b>53,932,028</b>
当期経常増減額		1,138,558
税引前当期正味財産増減額		1,138,558
法人税、住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		1,064,058
前期繰越正味財産額		39,577,148
<b>次期繰越正味財産額</b>		<b>40,641,206</b>

## 理事長就任のご挨拶

このたび、2026年6月の総会において理事長に選任されました。身に余る重責ではございますが、その責務の重みを真摯に受け止め、誠実に全力を尽くす所存です。松田妙子副理事長、石田尚美副理事長とともに力を合わせ、本協議会の運営に取り組んでまいります。

子育てひろば全国連絡協議会は、2007年の設立以来、奥山千鶴子前理事長のもと、「子育てひろば」に取り組む全国の団体を支え、その質の向上に努めてまいりました。地域で子育てを支えることの重要性は広く認識され、地域子育て支援拠点は全国で8,000か所を超えるまでに広がっています。これまでの奥山前理事長のご功績に心より敬意と感謝を申し上げるとともに、本協議会の活動を支えてくださった会員の皆様、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

近年、子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。出生数は過去最低水準となり早期の職場復帰などにより地域とのつながりを持ちにくい家庭も増え、孤立の深まりが懸念されます。こうした中、親同士が安心して出会い、交流し、支え合いが生まれる拠点の役割はますます重要になっています。日常的な関わりの中での予防的支援や、他の家庭の子育てに触れることで子育てを体験的に身に付けられる場としての価値も、今後さらに高まっていくと考えています。

本協議会では「ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点」を掲げ、2026年度からの中期計画を策定しました。拠点の特性を生かしたパートナーシッププログラムの開発にも取り組み、保護者同士が互いを尊重し合いながら地域とつながり、共に子育てを担う関係づくりを支えてまいります。パートナー同士がこどもをまんやかに、互いを尊重しながら地域とつながりともに育てていく関係性を育む場としての拠点の特性を生かし、パートナーシッププログラムの開発にも取り組みます。

来年には設立20年の節目を迎えます。地域子育て支援拠点が、今後も子育て家庭にとって欠かすことのできない子育てインフラであり続けるよう、政策動向を踏まえた情報発信を強化し、その価値を広く社会に伝えてまいります。本年度、新たに4人の理事を迎えた新体制のもと、会員の皆様から信頼される協議会であり続けるとともに、全国の子育て家庭に貢献できるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会  
理事長 中條美奈子  
(認定NPO法人マミーズ・ネット 理事長)

## 副理事長就任のご挨拶

このたび、副理事長として関わらせていただくことになりました。みなさんの声を丁寧に受け止め、これまでの経験をいかしつつ取り組んでいきたいと思っています。会員の皆さんと共に歩みながら、理事長を支える立場として、私にできることを一つずつ積み重ねてまいります。

よりよい活動につながるよう努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会  
副理事長 石田尚美  
(NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー 理事長)

## 副理事長就任のご挨拶

理事を拝命したころ、私の団体は拠点事業を受託していませんでした。みなさんとの実践交流のおかげで、私たちの地域の資源も豊かになってきました。子どもや家庭に関わる様々な活動があるなか、なぜ、「子育てひろば」なのか。子どもが主体の毎日を地域で安心して過ごし、保護者がゆっくり親になっていくプロセスがひろばにはあるなど思います。その時間と空間を豊かにしていくことを全国の仲間とひたすら追求したいと思います。



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会  
副理事長 松田妙子  
(NPO法人せたがや子育てネット 代表理事)

## 理事長退任のご挨拶

「親子で逃げ込める場があってよかった」と今も利用者の声が寄せられます。家での子育てがなぜ煮詰まってしまうのか、現代の子育てがなぜ大変なのか、子どもを授かる前の当事者にも社会にも、その状況は断片的にしか理解されていないと感じていました。約25年前、「子どもを育てる家庭は必ず通る道だから」「母親が我慢すべきものだから」といった暗黙の空気を払拭すべく、子育てひろばはスタートしました。

ひとつの解は、有識者の方々からも指摘されているように、ヒトの子育ては親以外の大人の手も借りて行う「共同養育」であり、核家族のなかで子どもの育ちを支える環境を意図的に作り出す必要があります。それが子育てひろばだということです。子どもが遊びに夢中になれる環境の中で、他の子どもとかわりながら育ち、親も他の親子との交流の中で子育てを体験的に身に付けていく生活空間を居心地よく作っていく支援者の役割もまた皆さんと共有してきました。こうして、現代の子育てに不可欠な機能として、ひろば全協では「地域子育て支援拠点は、子どもと家庭が最初につながる子育てインフラ」と位置づけています。

どうやって当事者や社会にそれを伝えていくのか、妊娠期からつながっていただくための工夫、子育て当事者や支援者の声を伝

えるエピソード集の発行、行政や企業に理解してもらうための啓発活動、社会に訴えていくための調査研究・セミナーの開催、各種研修プログラムの開発と実施、といった活動をこの20年間、会員の皆さまと積み上げてきました。

もうすぐ赤ちゃんの頃に利用者だった子どもたちが親として子育てひろばを利用してくれるような年月となってきました。妊娠したら地元の子育てひろばに行ってみよう、が自然な風景となれるよう、子育て家庭のニーズを踏まえ、地域とつながり、子どもと家庭に寄り添う子育てひろばの価値を社会に発信しつづけていきましょう！

この約20年間、理事長として多くの方々を支えていただきました。皆様には心より感謝申し上げますとともに、中條美奈子新理事長のもとで新体制となります。引き続き、「子育ての未来をともに創る」担い手としてお力添えをお願い申し上げます。



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会  
理事 奥山千鶴子  
(認定NPO法人びーのびーの 理事長)

## 就任ご挨拶

役員改選のご報告:2026年6月7日の総会をもって、4名の方が新たに理事に就任いたしました。

### 有澤陽子(香川県高松市)

(NPO法人子育てネットひまわり 代表理事)



香川県高松市でNPO法人子育てネットひまわりの活動に携わっています。自身の子育てをきっかけに地域子育て支援と出会い、23年、親子がほっとできる居場所づくりに取り組んできました。わいわいガヤガヤとした関わりの中で、人と人がゆるやかにつながり、孤立を生まない地域づくりを大切に、小さな取り組みを組み合わせながらつながりを育むきっかけづくりを大事にしています。ひろば全協の理事として、みなさまと共に学び合い、高め合いながら、子育てひろばの活動を通じて親子にやさしい地域づくりを進めていけたらと思います。どうぞよろしくお願いたします。

### 中井恵美(愛知県名古屋市)

(認定NPO法人子育て支援のNPOまめっこ 理事長)



理事に就任いたしました中井恵美と申します。名古屋市で地域子育て支援拠点を4か所運営しています。まめっこは2000年の法人設立から日常の子育て支援にこだわり、「親も子も主人公!」を合言葉に活動してきました。私自身は周りに恵まれ、たくさんの方に支えてもらい子育てをしました。年々子育てが難しくなっていますが、子育て支援がどこに住んでいても当たり前利用できる様、力を尽くしていきます。よろしくお願いたします。

### 川上由枝(石川県白山市)

(認定NPO法人おやこの広場あさがお 理事)



2年前の能登半島地震の際には皆様から多くの温かいご支援をいただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。私達の拠点は敬宮愛子様のご誕生記念、親子よこびの広場事業が始まりで、地域のつながりに支えられ活動は24年目となりました。「家族」も「子育て」も多様になる中、「拠点」の役割や可能性をさらに深く皆さんと一緒に考え、学びあいながら活動していけるよう微力ではありますがどうぞよろしくお願いたします。

### 山口ひろみ(佐賀県唐津市)

(NPO法人唐津市子育て支援情報センター 理事)



この度、理事に就任いたしました山口ひろみです。2004年からの子育て中の方々の「生の声」を大切に、ひろばや利用者支援、病後児保育、ファミサポ、中高生との活動など、地域の方々と試行錯誤を重ねてきました。ひろば全協の研修で得た学びや素敵な繋がりを糧に、これからも子どもから大人まで笑顔が溢れる町づくりを目指します。会員の皆様が楽しく活動できるよう、微力ながら精一杯がんばります。よろしくお願いたします!

## 退任ご挨拶

安田さん、小川さんが任期満了で理事を退任されました。安田さんは16年、小川さんは10年、理事として、講師、研修プログラム開発、調査等でご尽力をいただきました。また、それぞれの団体には研修の事務局としてもご協力いただきました。

### 安田典子

(NPO法人くすくす 副理事長)



16年間に亘り、男女共同参画の視点で「いなかのひろば」の応援に力を注いできましたが、その思いを形にすることへのハードルの高さを、今更ながら痛感しています。自団体の名称由来のクスノキは常緑樹で、新しい葉が出揃うのを待って古い葉を落とします。子育て応援の営みもまた、途切れることなく次へ繋がってほしいと願いつつ、皆様の活動、そしてひろば全協の活動が「循環型支援」として未永く継続されることを祈っています。

### 小川由美

(NPOアンジュ・ママン 施設長)



小さな町での子育て支援スタート!今から20年以上前のことです。子育て家庭に寄り添う支援がしたい一心で活動を始めましたが、戸惑うことばかり。そんな中、ひろば全協の存在にとても助けられたことを思い出します。さらに理事を拝命したのはちょうど10年前。全国の会員のみなさまと出逢えたこと、たくさん笑ったこと、そして何より、こどもたちの育ちについて懸命に考えたこと、私の人生の宝です。心より感謝を申し上げます。

## 役員一覧 (任期:2026年6月7日~2028年6月6日) \*氏名・所属・役職は2026年6月7日現在

役職名	氏名	所属
理事長	中條 美奈子	認定NPO法人マミーズ・ネット 理事長
副理事長	石田 尚美	NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー 理事長
副理事長	松田 妙子	NPO法人せたがや子育てネット 代表理事
理事	荒木 裕美	NPO法人ベビースマイル石巻 代表理事
理事	有澤 陽子	NPO法人子育てネットひまわり 代表理事
理事	栗澤 稚富美	(公財) 社会教育協会 子育てカフェモグモグ 施設長
理事	大村 美智代	一般社団法人ここみ 代表理事
理事	奥山 千鶴子	認定NPO法人びーのびーの 理事長
理事	川上 由枝	認定NPO法人おやこの広場あさがお 理事
理事	田中 加寿子	NPO法人Msねっと 副理事長
理事	中井 恵美	認定NPO法人子育て支援のNPOまめっこ 理事長
理事	廣崎 祥子	NPO法人ふらっとスペース金剛 代表理事
理事	藤井 智佳子	NPO法人あっと 代表理事
理事	山口 ひろみ	NPO法人唐津市子育て支援情報センター 理事
監事	鈴木 隆	元横浜市副市長
監事	米田 佐知子	子どもの未来サポートオフィス 代表



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会(ひろば全協)

〒222-0037 横浜市港北区大倉山 1-12-18-303

TEL:045-531-2888 / 045-546-9970

(受付時間:平日9:00~17:00)

FAX:045-512-4971

E-mail: info@kosodatehiroba.com

